



令和元年度活動報告

市民一人ひとりの人権が尊重された 心豊かな地域社会を目指して

市では、「長門市人権教育推進委員会」を中心として、市民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向け、地域に密着したきめ細かい人権教育・人権啓発活動を推進しています。



▲山口県人権推進指針

すべての人権課題の 解決に向けて

今年度は、「山口県人権推進指針」に掲げられているすべての人権課題の解決に向けた取組を念頭に、人権教育セミナーと人権フェスティバルにおいて幅広く人権課題を扱うことで啓発に努めました。

本市においても、さまざまな人権課題が幅広く存在しており、社会の変化などによって、人権に関する新たな課題もみられるようになりました。

このような状況を踏まえ、すべての人々の人権が尊重された社会の実現を目指していくためには、市民一人ひとりが人権尊重の理念について正しく理解し、日常生活において人権への配慮がその態度、行動に表れるような人権感覚や、人権の大切さに気付く豊かな感性を育むことが大切です。

本市では、身近にある人権課題の現状把握や課題解決に向けた具体的な対策について研修を深めるため、各種人権教育セミナーや人権フェスティバルの機

会を活用して、積極的に市民への啓発に取り組んでいます。

第1回 長門市人権教育セミナー

- 開催日 7/24(水)
- 場所 長門市地域医療連携支援センター
- 参加者 約150人

Cococomi(ここえみ)代表小林洋子氏を講師として、「よりよい人間関係を築くためのアンガーマネジメント」という演題で講演を行いました。



▲講演の様子

人と人をつなぐ第一歩は「言葉」です。言葉の選び方や言葉かけ、また、コミュニケーションスキルを向上させる方法について、演習も交えながら分かりやすく説明されました。会場は満席となり、参加者は、最後まで熱心に講演に耳を傾けていました。

【参加者の声】

▼今まであまり考えたこともなかったのですが、自分自身の日ごろの行動を振り返る時間となりました。イライラを減らす努力をすることが、よりよい人間関係を築くことにつながるし、自分が楽に生きられるのだなと思いました。

▼年を重ねるにつれて、自分の価値観がこり固まり、怒ることが増えたように思います。物事の多様性や価値観を認め、自らの考え方を見つめ直していきたいと思えました。

第2回

長門市人権教育セミナー

- 開催日 9/21(土)
- 場所 市役所三隅支所
- 参加者 約30人

本セミナーでは、昨年度と同様にビデオフォーラム・参加者意見交流会を実施しました。

今年度は、すべての人権課題の解決を目指した取組に力を入れることとしており、ビデオでは「女性の人権」、「子どもの人権」、「障害のある人の人権」、「外国人の人権」など多種多様な課題について考えを深められるよう配慮しました。参加者は、多様な人権課題にふれながら、「人権尊重」の実現に向けて真剣に意見を交わしていました。



▲ビデオフォーラム後の意見交流会

【参加者の声】

▼意見交流で、いろいろな意見を聞くことができてよかったです。人として相手を認め、尊重しあうことの大切さ、次の世代、子どもたちに教え導いていく責任の重さを実感しました。

▼普段生活する中で、あまり人権を意識することがないので、このような場で、いろいろな人権を知り、改めて考えることで、意識が芽生え、良い機会だと思いました。ビデオのどの項目も、法律はたくさんできていますが、一人ひとりが意識を変えていくことが大切なのだと思います。

長門市人権フェスティバル

- 開催日 11/10(日)
- 場所 ラポールゆや
- 参加者 約170人

山口県人権啓発活動地域ネットワークによる「人権の花」、「人権作文」の表彰の後、弁護士仲岡しゅん氏を講師とし、「性的マイノリティってなに？楽しく学ぶ、ジェンダー、セクシュアリティ」という演題での講

演を行いました。

仲岡氏は戸籍上の性別は男性ですが、女性として弁護士登録をしているトランスジェンダーです。弁護士として日々多くの相談にあたり、新聞、雑誌、テレビなどのメディアでも活躍する豊富な経験をもとに、「互いの存在や人権を認め、尊重しあうことの大切さ」について語りました。



▲人権について学ぶ



▲人権作文の発表

【参加者の声】

▼テレビでトランスジェンダーという言葉は知っていました。

講演を通して「言えない」ということが問題かなと思います。一人の人間」という存在が一つの価値をもっていること、性別で分けてしまうことで不向きを与えてしまうことがあるのではないかと考えました。

第3回

長門市人権教育セミナー

- 開催日 12/1(日)
- 場所 日置農村環境改善センター
- 参加者 約130人

本セミナーは、「第40回日置地区あたたかいふるさとづくり研修大会」を兼ねての開催となりました。

開会行事では、日置女声合唱団「白い風車」による合唱が行われ、続いて長門市青少年育成市民会議日置支部長から「絵手紙」優秀作品の表彰があり、11人の園児・児童・生徒に賞状が授与されました。日置地区の小学校児童、中学校・高校の生徒による意見発表も行われました。講演会では山口県A・D・H・Dを考える会世話人堀川貴美子氏が「子どもの個性と100通りの子

育て〜たくさん笑顔〜」という演題で講演を行いました。



▲講演の様子



▲「絵手紙」優秀作品の表彰

【参加者の声】

▼発達障害。私も子どもがいるので何度も耳にする言葉です。分かっているようで、分かっていたなと思います。それは、当事者でないからだと思います。しかし、今日の講演を聞いて、うまく言葉にできませんが、少し自分の中で何かが変わったような気がします。

▼いろいろなことを乗りこえた人の言葉は強く心に刺さりまくります。「すみません」と言わなくて良いですよ。「大丈夫ですよ」と言っただけでいられる社会にしたいと思います。